

会員各位

令和6・7年度日臨技会長選挙について

令和6・7年度日臨技会長選挙が公示されました。
九州支部は、日本臨床衛生検査技師会前副会長の横地常広氏を推薦する事に致しました。

横地常広氏はスローガンである「日臨技を再考し会員とともに挑む」を掲げ、臨床検査技師の将来のために様々な取り組みを構築されておられます。

この先「団塊の世代」800万人以上が75歳以上になる超高齢社会が訪れるため、社会保障の見直しや医療改革が行われる「2025年問題」や日本の高齢者（65歳以上）の割合の最大化と生産年齢人口の急減が同時進行で起こり、国内経済や社会維持が危機的状況に陥るとされている「2040年問題」が私達を待ち受けております。

このような状況の中、私達、臨床検査技師を取り巻く環境もこの先、大きく変わって行くものと思われます。横地氏は、このような状況を鑑み、私達臨床検査技師が進むべき方向を分かりやすく明確に提言されています。公約の詳細につきましては、日臨技のHPへ掲載されておりますので、ご一読下さい。

これから数十年先までも、臨床検査技師として医療の第一線で活躍していくためにも是非、横地先生に日臨技の舵取りを行って頂きたいと思っております。

九州支部は横地常広氏を推薦致します。

九州支部支部長（倉重康彦）

鹿児島県会長（有村義輝）・沖縄県会長（手登根稔）・熊本県会長（田中信次）
宮崎県会長（花牟禮富美雄）・大分県会長（丸山晃二）・佐賀県会長（平野敬之）
長崎県会長（門脇和秀）・福岡県会長（外山洋子）